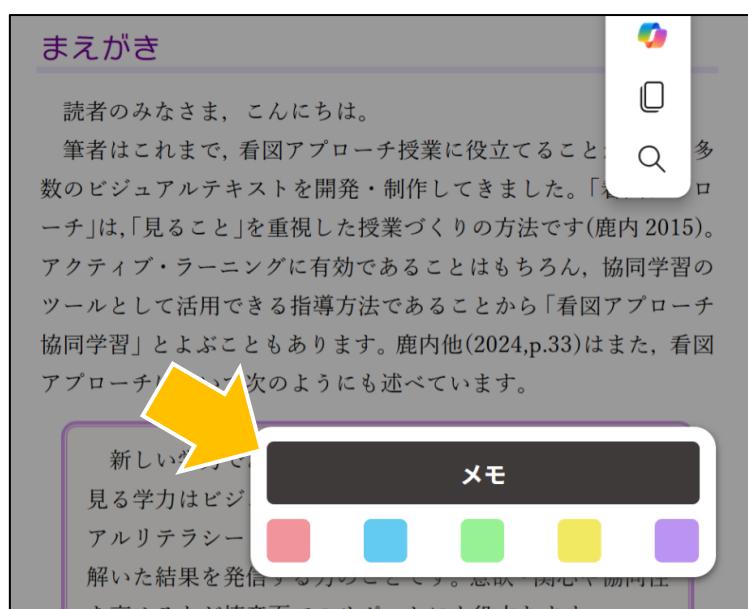


電子書籍への書き込み方法とマーカー（ハイライト）の付け方

『見方・考え方を育てる授業デザイン—看図アプローチの理論と実践—』および『看図アプローチのための教材デザイン—「見ること」でととのう学びのアトモスフィア』は「電子書籍」ですので、web 上でのみ閲覧が可能です。web 上ではありますが、書き込みやマーク付けが可能です。下記手順をお試しください。

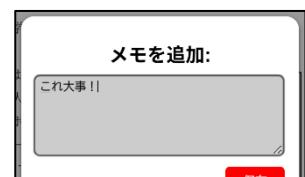
なお、参考画像は『看図アプローチのための教材デザイン—「見ること」でととのう学びのアトモスフィア』（石田ゆき著）です。

- ①まず、メモしたい箇所・マーカーを付けたい部分をドラッグして選択します。
画像右下のようなメニューが出ます。（一時的に画面がグレーに反転しています）
ここでは仮に、本文4行目の”「見ること」を重視した授業づくりの方法です”を選択しました。



②書き込み（メモ）したいとき

「メモ」をクリックして文字を入力し、「保存」を押すと、
その部分にコメントが挿入されます。
(下線付きの薄いオレンジ色になり、カーソルをのせるとそのメモが見られるようになります。また、その部分をクリックすると、メモを追加したり削除したりできます。右図参照。)



は、「見ること」を重視した授業づくりの方法です(鹿内 2015)。

③マーカーをつけたいとき

マーカーを付けたい部分をドラッグして選択し、メニューからお好きなマーカーの色を押していただくと、その部分にマーカーが付されます。(ここでは水色を選択)



(マーカー部分をクリックすると、メモを追加したりマーカーを削除したりできます。なお、マーカー部分に「メモ」を追加すると、マーカーの色ではなく下線付きの薄いオレンジ色のメモ表示になります。)

「チ」は、「見ること」を重視した授業づくりの方法です(鹿内 2015)。アクティブ・ラーニングに有効であることはもちろん、協同学習のツールとして活用できる指導方法であることから「看図アプローチ協同学習」とよぶこともあります。鹿内他(2024,p.33)はまた、看図アプローチについて次のようにも述べています。



マーカーするときには「保存」のボタンは出てきませんが、マーカーが付されたあとでページを行き来したり、タテ・ヨコ読み表示を変更したりしても、保持されます。